



「2年生の証～許可テストを終えて」 2年

私たちは2年生の一大イベントである許可テストにクラス一丸となって合格することができました。きっと1年前の私たちなら全員合格することはできなかったと思います。

1年生の時の私たちは、それぞれがそれぞれの考えを持っているにもかかわらず、お互いに言いたいことを言い合えないということや、自己中心的になってしまうということもあり、クラスとしても、人としても未熟でした。2年生になり1人ひとりが成長できたのは許可テストでそれぞれが自身の弱点を克服し、お互いに指摘し合えたからなのだと感じています。1年後には介護福祉士国家試験が迫っているため許可テストでの失敗を活かしてクラス全員が国家試験に合格するという強い気持ちをもって、国家試験に備えていきたいと思ひます。また、私たち2年生が苦手としている準備の遅さや周囲を見て行動することは克服していき、1年後の国家試験を必ずや全員合格して見せます。

2年生排泄介助の様子。介護福祉士になるために日々努力しています。



2年生全員そろって、実習前確認テスト（許可テスト）合格しました！自信あふれる笑顔です。

1年生は施設見学をして、高齢者施設への理解を深めました。



「介護総合演習、介護実習で学んだこと」 1年

介護総合演習、介護実習で学んだことは、情報共有の重要さと利用者様との関わり方の基本です。演習でレポートを提出する際には、クラスの中での情報共有ができておらず、何度も指導を受けました。その後、クラスでどうすべきであったのか、今後は、何を意識する必要があるのかを話し合いました。介護の現場でも情報の共有ができていないと、必要なケアが円滑に行われなくなるなど、利用者様の生活に支障をきたす可能性があります。情報共有は、いかに重要な事かということを学びました。

実際に施設に行った際に、利用者様とどのように関わるかを学ぶ機会があった授業では、「声を大きく」、「目線を合わせる」など教えていただきました。利用者様と関わる上で大切なことは、利用者様が聞き取りやすい声で、かつゆっくり話すこと、手を握るなどの優しいスキンシップを交えることです。このように1年生で学んだ経験を生かし、利用者様が安心できるような関わり方を心がけていきたいです。



今年度の介護実習は感染症対策を行ったうえで、校外実習を実施することができました。

**今後の行事予定**

3/1 (火)	第56回卒業証書授与式	3/24 (木)	修了式 離任式
2 (水)	入選会場設営・午前授業		博愛寮博愛会役員会
3 (木)～8 (火)	入選業務のため休業日	25 (金)	年度末休業（～31日）
9 (水)	漢字コンクール		介護福祉士
	福祉校内模試（2年）		国家試験合格発表
10 (木)	福祉校内模試（2年）	4/1 (金)	年度始休業（～7日）
16 (火)	寮大掃除	8 (金)	着任式 始業式 大掃除
18 (金)	個人写真撮影	11 (月)	入学式

「卒業生の皆さんへ」 PTA会長 井関 潤一

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。また三年間、卒業生を見守り支えてこられた保護者の皆さん、教職員の皆さん、改めて心よりお祝い申し上げます。

生徒の皆さん、置戸高校に入学しようと思ったその時から卒業するまでを思い返してみてもどうか？置戸での生活は楽しかったですか？辛かったですか？心が折れそうになりましたか？地元や親と離れて寂しかったですか？やとと終わつたぜと肩の荷が降りましたか？(笑)卒業した生徒の皆さんは予想を遙かに超える沢山の苦労を乗り越えてきたことでしょう。楽しいことの方が少なく感じました生徒もいたかもしれません。しかし皆さんは置戸高校福祉科を卒業したのです。やり遂げた自分に胸を張り、自信を持ってください。三年間も頑張ったんですから、もういいってくらいに自分を褒めてあげてください。生徒たちは見事にやり遂げ、卒業したのであります。

この春から新たな一歩を踏み出すべく、それぞれが決めた道。思い描いてる人生はすぐ近くにあるように、実際は、なかなか思うようには行かないかもしれません。不思議と人生というのは焦つたり急ぎすぎると躓きます。疲れたり悩んだり何かの壁にぶつかった時には少し休んでください。休んだからといって止まっているわけではないのですから。寄り道しても、道草くつても、歩いていけば家やゴールには必ず着きます。置戸高校を卒業したように自分で決めた道ならば、他人や周りには左右されずしっかり歩んでいけば、またきつとゴールが近づいてくるはずですよ。

改めて卒業生の皆さんへ卒業おめでとうございませう。新しい旅立ちを祝福し、今後の更なる活躍を心よりお祈り申し上げます。

「卒業に寄せて」 校長 小森 章史

晴れて高等学校の課程を修了した3年生の皆さん、卒業おめでとうございませう。また、保護者の皆様方には、お子様たちの卒業を心よりお祝い申し上げますとともに、これまで、本校の教育活動に御理解と御協力を賜りましたことに厚くお礼を申し上げます。

さて、3年生の皆さんは、物心ついたときからパソコン等のデジタル機器に慣れ親しんでいるZ世代とも呼ばれる世代であり、他にも大リーガーで二刀流の大谷投手など日本人の国際的な活躍について、より身近に感じている世代です。さらに、東日本大震災や北海道胆振東部地震、新型コロナウイルス感染症など様々な災害を経験してきた世代でもあります。皆さんがこれから進む、福祉や医療の世界も他と同様に、当然、情報化・国際化への対応や、どんな災害・事態が起きようとも、しなやかに対応できる力が求められます。そうした社会に対応し生きていく力を身に付けるためには、これからも「好奇心」旺盛にかつ「謙虚」に、生涯学び続ける姿勢を持ち続けることが基本となるはずですよ。

「成長とは変化すること」であると、昨年の卒業生にメッセージとして送りました。変化するためには、同じことを繰り返そうとするのではなく、常に、「好奇心」を持って学ぼうとする意欲を持ち続けることが肝要だと思います。そして、まだまだ自分たちの知らないこと、未経験のこと、思いの至らないことが限りなくありますので、いくつになっても自らを未熟な存在と捉え、「謙虚」に学び続ける姿勢も大切ですよ。そうすれば、生涯、成長し続けられる人生を送れるのではないかと思っています。

今年度、本校は創立70周年の節目の年を迎え、保護者の皆様をはじめ、同窓会、置戸町、近隣の市町の方々から、多大なる御支援をいただきました。本当に感謝の気持ちでいっぱいになります。そんな本校を応援して下さる多くの方々への期待を受け止め、応えていけるよう、我々は本校に求められる使命を果たしていきたいと思ひますし、卒業生の皆さんも、これからの時代にしなやかに対応し、自分らしく着実に成長してくれることを願っています。

# 卒業生の皆さんへ

三年保護者代表 川岸亜寿香

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

三年間、楽しかった事、苦しい時、くじけそうになった等、色々な思い出があると思います。その時、どの様に乗り越えましたか？とても悔しい思いをした事もあると思います。その悔しかった時、辛かった時、仲間と、協力し共に成長できた事を誇りに持って欲しいです。この先、壁にぶつかってしまった時、何かのヒントや力になると思います。コロナ禍で介護実習や学校祭等、今までの様に出来なくなっただけ、今出来る事を、一生懸命考えて取り組んでいる姿はカッコ良く、とても素晴らしいかったです。感謝を忘れず自分の生きる道へ！

『考えは言葉となり、言葉は行動となり、行動は習慣となり、習慣は人格となり、人格は運命となる。』  
(マーガレット・サッチャー)



今年の激励会は ZOOM で行われました。全校生徒・教職員の応援を背に、国家試験では力を発揮することができました。



## 国家試験を終えて

3年

私は元々勉強が得意ではありませんでしたし、何かを継続することも得意ではありませんでした。そんな私が、途中で投げ出さず、最後までやりきったということは確実に今後の自信に繋がると思っています。

国家試験に向けての勉強は、自分だけではなく先生方やクラスメイトの協力があって乗り越えられたものだと思いますし、わからないことをわからないままにしておかないという調べる力が必要だとも思っています。

最後に、私が国家試験当日までやってこられたのは、家族や先生方のサポート、そしてクラスメイトたちと自分自身を高め合い、研鑽し合えたからだと思っています、感謝を伝えたいです。



3年間私をフォローしていただき、本当にありがとうございました。

# 卒業に寄せて

三年担任 後藤 幸洋

「朝起きて 朝食食べて 歯を磨き 元氣な声で いってきます」

この毎日の小さな積み重ねが、いつか大きな夢の実現につながる

「不眠不休、寝食忘れて働くこと」が美しい、当たり前、カッコいいという時代ではなくなりました。これからは、寝食を充実させ自分でライフサイクルをマネジメントしていく時代です。

さて、卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。コロナ禍で様々な制限の中、たくさんの方の我慢と粘り強さで学校生活を送ってきた生徒の皆さんは、当たり前だと思っていた日常が、パッと消えたり、クルッと変わったたり、そのような感覚で毎日を過ごしてきたことでしょうか。でも、介護福祉士合格という夢を強く抱き、様々なことを乗り越えてきました。

これらの経験を生かし、これからは正解がない状況を長く生きていくために、自分のライフサイクルをマネジメントするなかで、確実性の高いものを見いだしていけるような能力が身に付けられることを願っています。最後になりますが、置戸町をはじめ関係者の皆様には、これまでご支援賜りましたことに感謝申し上げます。

## 努力

3年

私は介護福祉士になりたいという夢を叶えるために置戸高校で3年間、福祉を学んできました。提出期限のある解説や実技テストに向けての練習が辛く、何度も挫折しそうになりました。しかし、3年間続けてこられたのは、私に夢を与えてくれた亡き祖母、置戸高校への進学を許してくれた父、辛いときに支えてくれた母、3年間指導して下さった先生方、辛い時も楽しい時も一緒にいてくれたクラスの皆、先輩、後輩、置戸町の皆さんのご支援のおかげだと思っています。

私は勉強が苦手でしたが置戸高校へ入学したことで、自分に自信をつけることができました。はじめて、提出期限のある解説では、クラスで協力し合い、さらに睡眠時間を削り、クラス全員で期限内に提出できた時の達成感は今でも印象に残っています。人として成長できる置戸高校に入学して良かったです。



私は卒業後、地元の特別養護老人ホームに就職します。利用者様にとって頼りがいのある介護福祉士になれるよう努力していきたいと思います。今まで支えてくださった皆さん、本当にありがとうございました。これからも応援よろしくをお願いします。

## 三年 進路決定状況

今年度の進学・就職先は次のとおりです。



【進学】  
大学  
北海道医療大学 リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科  
日本赤十字北海道看護大学 看護学部

【就職】  
管内  
社会福祉法人置戸町社会福祉協議会  
社会福祉法人北海道仕愛会 特別養護老人ホーム光の苑  
社会福祉法人清里社会福祉協議会 特別養護老人ホーム清楽園  
社会福祉法人浄光会 特別養護老人ホーム花の苑  
有限会社介護サービス 訪問介護 連  
社会福祉法人きたの愛光会 特別養護老人ホームこもればの里

道内  
一般社団法人徳洲会 介護老人保健施設徳洲苑なえぼ  
社会福祉法人普仁会 特別養護老人ホーム愛仁園

## 2年生見学旅行



2年生が12月19日から22日までの3泊4日で東北地方・函館方面に見学旅行へ行ってきました。仙台大学附属明成高校の福祉科の皆さんと交流し、たくさんのお話を学びました。またクラスの仲間たちとも大いに楽しみ充実した見学旅行となりました。

今年度の学校説明会及び体験入学会は、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、置戸高校オンライン・オープン・スクール (O3S) と題して ZOOM での開催となりました。画面越しではありますが、本校生徒も多数が、校内だけではなく、寮や自宅から参加し、置戸高校についてたくさんのお話を紹介させていただきました。多くの中学生や学校関係者の方に参加いただき、誠にありがとうございました。



